

RA-b-23

自動処理_マウス肝臓からの total RNA 分離

プロトコル (5-10 mg)

組織量を決定する



ホモジナイズ用チューブ

マウス肝臓組織*¹:5-10 mg
LRT (2-ME 添加済み)*²:500 μl (ペッスルの場合は、200 μl の LRT (2-ME 添加済み)*1 を加える)

ホモジナイズ:

- a. ボールミルホモジナイザー(トミー精工(株) Micro Smash MS-100) [ジルコニアビーズ (5 mm ф) 3,800 rpm 120 秒]
- b. Rotor-Stator ホモジナイザー

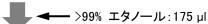
[7 mm ϕ プローブ、20,000 rpm 30 秒 x 2 回]

c. モーター付き、マイクロチューブ用ペッスルホモジナイザー: [1 分間以上→300 μl の LRT (2−ME 添加済み)*¹ を加えボルテックス:15 秒]

- ≥17,000 x g (≥15,000 rpm)、3 分、室温
- 350 µl の上清を新しい 2 ml マイクロチューブ(サンプルチューブ)*3

SRT: 175 µl

軽くスピンダウン ボルテックス(最大回転数):15秒



軽くスピンダウンボルテックス(最大回転数):1分

-

装置にセット

Protocol: RNA TISSUE (溶出液量:100 µl *4)

*サンプルチューブのセット方法については、

Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

- 1. ライセートをカートリッジにアプライ
- 2. 加圧
- 3. Wash Buffer(WRT)で1回洗浄
- 4. DNase 処理
- 5. Wash Buffer(WRT)で2回洗浄
- 6. 溶出液(CRT)を添加し、total RNA をコレクションチューブに回収

Total RNA

サンプルの種類・保存条件などによっては分離できない場合もあります。 データに関しては保証しておりません。 分離した核酸には目的以外の核酸(例: DNA 分離には RNA)が含まれています。 *1 ハサミ、ハンマーなどを用 いて、組織を 1.5-2 mm 角 の小ブロックにカットす る。

*2 1 ml の LRT 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

*3 推奨のマイクロチューブ #BM4020(ビーエム機器) #72.695.700 (SARSTEDT) #72.695.500S (SARSTEDT)

*4 推奨溶出液量は 100 µl です。 溶出液の容量は 50 µl まで減らすことができますが、その場合、溶出効率が低下する可能性があります。





|結果

マウス肝臓 7 mg 相当から QuickGene-Auto12S を使用して total RNA を分離しました。

■ Total RNA の収量

サンプル ID	#1	#2	#3	#4	平均	S.D.
収量 (μg)	35.0	29.8	29.9	28.1	30.7	3.01

■ タンパク質の混入:A260/280 /カオトロピック塩の混入:A260/230

サンプル ID	#1	#2	#3	#4	平均
A260/280	2.36	2.32	2.33	2.30	2.33
A260/230	2.15	1.90	2.16	2.05	2.07

■共通プロトコルサンプル

マウス精巣、マウス肝臓、マウス脳、マウス肺、マウス脾臓

